

## 教職員の働き方改革プラン2021の取り組み状況

令和3年9月時点

(○印は今年度新規取り組み、[ ]内は昨年度の数値)

### 1 長時間勤務・多忙化解消に向けた取組の推進

#### (1) 勤務時間管理の徹底及び勤務時間を意識した働き方の推進

- ・全県立学校の退勤時刻を19時に統一し、退勤時刻を過ぎて勤務する場合の書面申告を徹底…84/84校(100%) [R2:100%]
- ・時間外在校等時間の上限(原則:月45時間)を超えた場合の事後検証(長時間勤務の要因分析、改善策の検討)を実施…84/84校(100%) [R2:100%]
- ・原則として勤務時間外における電話対応は行わないこととし、留守番機能付き電話により対応…84/84校(100%) [R2:100%]
- ・新型コロナウイルス感染症への対応に係る教職員の柔軟な勤務体制を確保するため、スライド勤務等の勤務時間制度を積極活用…84/84校(100%) [R2:100%]
- ・「早く家庭に帰る日」の見届けを実施…84/84校(100%) [R2:100%]
- ・毎週水曜日に「ノー残業デー」を設定(振替え実施を含む)…84/84校(100%) [R2:100%]
- ・年5日以上の子次休暇取得を促進…取得日数5日未満991人[R2.9:1,993人] KPI 0人

#### (2) 業務内容の不断の見直し

- ICTを活用した授業改善や校務の効率化を支援するため、「ICT教育推進室」を設置し、各学校に「ICT学校改革担当指導主事」等を派遣…全県立学校に計14人がのべ553回訪問
- 外部機関と連携し、ICTを活用した働き方改革の研究事業を推進…「校務のデジタル化と働き方改革推進事業」モデル校7校
- 定期試験等の採点業務におけるデジタル採点システム導入(R3.9~)
- ICTを活用した遠隔の高校間における協働でのオンライン進学補習指導の実施…「多治見北・岐阜北」「恵那・可児」「斐太・加納」「多治見・加茂」「中津・大垣南・本巣松陽」でR3.7~実施
- ・授業等におけるICT活用および校務の情報化に係る教員研修を拡充して実施…計36回実施(のべ1,508人受講)
- ・学校におけるICT活用の優良事例の収集と情報提供…「ICT活用と働き方改革メールマガジン」を5回発行
- ・デジタル教材の共有や会議・配布物のペーパーレス化の推進…84/84校(100%)

- ・学校・保護者間等の欠席連絡やアンケート調査において、メール配信システムやアンケート作成ツール等を活用…84/84校(100%) KPI 100%
- ・感染症予防及び教職員の負担軽減を踏まえて、会議や研修のあり方を見直し、Web会議システム等を積極活用…システム利用回数：1,046回 [R2.9:236回]
- ・電子錠・キーボックスの設置や勤務時間制度の有効活用により、管理当番(夜間早朝の施錠・開錠や欠席連絡の対応)業務の見直しを実施  
…84/84校(100%) [R2:100%]
- ・高速印刷や丁合・ステープルなどができる高性能印刷機を導入し、印刷業務の負担を軽減…県立学校17校(R3年度分)へ設置済。R4年度16校に導入し全県立学校への整備完了予定。

### (3) 部活動指導に係る負担軽減

- ICTを活用した遠隔指導による合同部活動のあり方についての実践的研究の実施(R3.7~長良高校と坂下高校の陸上部で実施中)
- ・高校部活動の地域への移行に向けたモデル事業を継続(R3.10~岐阜総合学園高校男子ホッケー部の活動の一部を(公社)ぎふ瑞穂スポーツガーデンにおいて実施)
- ・教員に代わって単独での引率や指導が可能な「部活動指導員」の配置を拡大  
…48校に92人配置 [R2:37校に66人配置]
- ・持続可能な運営体制をつくるために学校規模(教員数)に合わせた部活動数の見直し(R3~5年度で実施)
- ・長時間勤務が見込まれる部活動に顧問を重点配置するとともに、複数顧問による交代指導を徹底  
…校内人事による重点的な顧問配置：高校51/63校(81%) [R2:75%]
- ・部活動ガイドラインに基づき、適切な休養日(週2日以上)、活動時間(平日2時間程度・休日3時間程度)を設定  
…適切な休養日の設定：高校99%、特支100%、全体99% KPI 100%  
[R2:高校98%、特支100%、全体98%]  
…適切な活動時間の設定：高校95%、特支100%、全体95%  
[R2:高校92%、特支100%、全体92%]

### (4) 学校を支える体制の整備

- ・感染症対策を含めた教員業務のサポートや、業務改善に取り組む「教員業務アシスタント」を配置  
…81校に296人配置(うち、コロナ対応77校に199人配置) [R2:81校に253人配置]
- ・農業高校の学校農場において休日の管理業務を行う「農場管理支援員」を配置…農業学科を持つ全6校に配置 [R2:6校]
- ・日本語指導が必要な生徒や保護者に対しての通訳や翻訳、学校生活への適応のための支援を行う「外国人児童生徒適応指導員」の配置  
…26校に13人配置(派遣) [R2:26校に13人配置(派遣)]

- ・就職指導や進学に関する支援及び情報提供等を行う「地域創生キャリアプランナー」を配置…19校に19人配置 [R2:19校に19人配置]
- ・すべての県立学校に「学校運営協議会」を設置し、地域や保護者と連携した学校業務の削減や役割分担の見直しを実施…83校(100%) [R2:36校]

## 2 ハラスメントとメンタル不調等の速やかな察知と解決

### (1) ハラスメント等の速やかな察知と解決

- 相談者や学校からの要望に応じて、臨床心理士による出張相談が受けられる体制を整備 (R3.4)
- ・職場環境を良好にするための職場研修や教職員間での意見交換を実施 (R3.5)
- ・「働きやすい職場づくり」エントリーシートを用いたハラスメント調査を実施 (R3.5)
- ・教育長をトップとする「人事管理対策会議」を毎月開催し、事案に対応…職場の人間関係や健康問題など、25件について対応を検討・実施中

### (2) 教職員の心身の健康づくりの支援

- 心身の不調を早期発見するため、疲労度やストレス状態を計測する機器を試験導入 (R3.5～) …実施予定30校中10校(181人)で実施済
- ・教職員のストレスチェック受検率…95.2% [R2:95.1%] KPI 100%
- ・教職員のストレスチェックにおける高ストレス者の割合…6.2% [R2:6.2%] KPI 前年度を下回る
- ・全教職員を対象に「疲労蓄積度自己診断チェック」を実施 (R3.5)
- ・「心の健康相談室」として、県内5圏域(10医療機関)で専門医による相談が受けられる体制を継続 (R3.4)
- ・教職員課に在籍する保健師が、各所属を巡回訪問し、心身の健康相談に関する職員面談や所属における安全衛生管理対策の状況を確認 (R3.5～) …高校8校で実施 (R3.8末)
- ・生徒、教職員が夏期において安全な環境で学習・勤務することができるよう、老朽化した空調設備を更新…1校18教室を更新済 (R3.7)

## 3 働きやすい環境づくりに向けたマネジメント力向上と組織体制の確立

- ・管理職等を対象に、学校における労務管理や危機管理に関する研修を実施…新任校長・新任教頭・新任部主事・新任3主任 計396人受講 (100%) [R2:100%] KPI 100%
- ・教職大学院と連携し、学校リーダーを育成するための研修を実施…3回(28人受講) [R2:3回(47名受講)]

#### 4 市町村教育委員会の取組の働きかけ

- 市町村教育委員会へ働きかけ、学校行事の精選や標準時間数に基づく教育課程の見直し・改善を促進
- 県立学校におけるICT活用の優良事例を定期的に提供 (R3.5~)
- 大学教授や指導主事をICT活用アドバイザーとして希望する市町村に派遣し、小中学校教員向けに研修会を実施…22市町で計20回実施(合同実施を含む)
- 部活動の地域移行に向けたモデル事業の実施 (R3.4~運動系3市町、文化系1町)
- ・重点項目について、各市町村の取組み状況を確認
  - ①休日を含めた客観的手段による勤務時間の把握
    - 客観的な手段により出退勤時刻を記録…412/537校(77%) [R2:393/542校(73%)]
    - 平日の出退勤時刻を正確に記録…530/537校(99%) [R2:526/542校(97%)]
    - 週休日・休日の出退勤時刻を正確に記録…464/537校(86%) [R2:462/542校(85%)]
  - ②退勤時刻(午後7時以前)の設定…534/537校(99%) [R2:539/542校(99%)]
    - 退勤時刻を過ぎて勤務する場合の勤務内容の申告の徹底…490/537校(91%) [R2:459/542校(85%)]
    - 上限時間を超えた場合の事後検証の実施…537/537校(100%) [R2:542/542校(100%)]
  - ③時間外在校等時間が月80時間を超える教職員に対する心身の健康状態の確認…537/537校(100%) [R2:542/542校(100%)]
  - ④部活動における適切な休養日(平日・休日各1日以上)及び活動時間(平日2時間、休日3時間以内)の設定
    - …適切な休養日の設定:173/176校(98%) [R2:175/178校(98%)]
    - …適切な活動時間の設定:171/176校(97%) [R2:172/178校(97%)]
- ・小学校における持ち時間数の平準化や教員の空き時間数確保のため、教科に関する専門的指導を行う「小学校専科指導教員」を配置
  - …91校に97人配置[R2:68校に72人配置]
  - 小学校高学年の空き時間が週2時間以下の小学校…5校[R2:13校]
  - 週4時間以上の空き時間を有する学校数…286校(79%) [R2:198校(54%)] KPI 361校(100%)
- ・校務支援システムの導入促進のため、市町村との活用事例の共有やシステム改良を実施…今年度中に2市が導入予定:39市町村(92.9%) [R2:37市町村(88.1%)] KPI 40市町村(95.2%)
- ・公立小中学校における外部人材の活用を支援
  - …スクールサポートスタッフ:34市町村に計400人配置(うち、コロナ対応27市町村に352人配置) [R2:38市町に計581人配置]
  - …部活動指導員:16市町に計99人配置 [R2:14市町に計75人配置]
  - …外国人児童生徒適応指導員:5教育事務所に13人配置(派遣) [R2:5教育事務所に13人配置(派遣)]

## 5 国に対する要望

- ・「教職員定数の改善」、「教員免許更新制度等の見直し」、「部活動の見直し」等について、文部科学省へ要望書を提出 (R3.6)

## 6 進捗管理

- ・事務局や学校における取組み状況を四半期ごとに確認
- ・学校訪問 (Web による実施も含む。) により現場の意見を聴取し、次期プランに反映 (R3.9 末:小・中・高・特支 計 16 校)

# 令和3年度 教員の勤務時間外在校等時間の状況

資料 2

## ○月別平均勤務時間外在校時間

	4月	5月	6月	7月	4ヶ月平均
高等学校	29時間46分	28時間42分	25時間46分	26時間20分	27時間38分
前年比 前々年比	154% -38%	308% -41%	10% -35%	2% -34%	63% -37%
特別支援学校	23時間38分	19時間02分	20時間19分	14時間29分	19時間22分
前年比 前々年比	143% -21%	230% -38%	25% -25%	-15% -31%	59% -29%
小学校	50時間46分	39時間33分	46時間28分	32時間28分	42時間19分
前年比 前々年比	115% -5%	149% -23%	-5% -13%	-25% -21%	29% -15%
中学校	58時間21分	48時間38分	56時間35分	42時間14分	51時間27分
前年比 前々年比	177% -11%	258% -24%	6% -15%	-21% -18%	46% -17%

## ○勤務時間外在校時間が月80時間を超える者の割合

	4月	5月	6月	7月	4ヶ月平均
高等学校	4.8%	4.0%	3.1%	3.4%	3.8%
前年比 前々年比	586% -74%	3900% -79%	158% -76%	79% -75%	292% -76%
特別支援学校	0.2%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%
前年比 前々年比	100% -88%	-100% -100%	0% -75%	-100% -100%	-25% -88%
小学校	6.6%	1.4%	3.7%	0.2%	3.0%
前年比 前々年比	843% -49%	2700% -86%	-33% -69%	-91% -90%	41% -67%
中学校	19.0%	7.8%	15.9%	3.6%	11.6%
前年比 前々年比	3700% -39%	38900% -73%	61% -49%	-68% -72%	114% -55%

## ○勤務時間外在校時間が月45時間を超える者の割合

	4月	5月	6月	7月	4ヶ月平均
高等学校	21.7%	19.0%	15.9%	15.9%	18.1%
前年比 前々年比	600% -55%	1800% -61%	31% -64%	10% -64%	136% -61%
特別支援学校	5.8%	1.4%	2.1%	0.4%	2.5%
前年比 前々年比	222% -75%	380% -94%	-18% -87%	-79% -91%	44% -86%
小学校	58.5%	34.6%	50.4%	16.0%	39.9%
前年比 前々年比	572% -14%	1630% -47%	-8% -25%	-62% -63%	48% -34%
中学校	69.2%	55.0%	65.8%	37.0%	56.8%
前年比 前々年比	1053% -11%	4131% -28%	1% -14%	-40% -37%	70% -22%

【参考】昨年度の状況 ※令和2年3月～5月は新型コロナウイルス感染症予防のため休校(部活動も休止)

## ○月別平均勤務時間外在校時間

	4月	5月	6月	7月	4ヶ月平均
高等学校	11時間43分	7時間02分	23時間24分	25時間50分	17時間00分
特別支援学校	9時間43分	5時間46分	16時間16分	17時間00分	12時間11分
小学校	23時間39分	15時間52分	48時間42分	43時間03分	32時間49分
中学校	21時間05分	13時間34分	53時間08分	53時間30分	35時間19分

## ○勤務時間外在校時間が月80時間を超える者の割合

	4月	5月	6月	7月	4ヶ月平均
高等学校	0.7%	0.1%	1.2%	1.9%	1.0%
特別支援学校	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
小学校	0.7%	0.05%	5.5%	2.2%	2.1%
中学校	0.5%	0.02%	9.9%	11.2%	5.4%

## ○勤務時間外在校時間が月45時間を超える者の割合

	4月	5月	6月	7月	4ヶ月平均
高等学校	3.1%	1.0%	12.1%	14.5%	7.7%
特別支援学校	1.8%	0.3%	2.6%	2.1%	1.7%
小学校	8.7%	2.0%	55.0%	42.0%	26.9%
中学校	6.0%	1.3%	64.9%	61.4%	33.4%

◆勤務時間管理の徹底及び勤務時間を意識した働き方の推進

- ・働き方の意識と工夫で時間外在校等時間を減らせることを実感している。
- ・出勤管理システムの各月ごとの集計結果や各自の業務状況を見える化し、管理職や分掌長が把握することで、必要な職員への声かけや業務の見直し等の相談にのっている。
- ・年次休暇は取りやすい雰囲気だが、平日は授業があり難しいので、長期休業中にまとめてとるようにしている。

◆業務内容の不断の見直し

- ・アンケートや欠席連絡においてメール配信システムやアンケート作成ツールを活用し、業務時間の削減につながった。
- ・会議資料をペーパーレス化して配信することで、印刷業務がなくなり、業務軽減につながった。
- ・ICT教育推進室の担当者が定期的に学校を巡回してくれるので、他校の取組状況や情報を聴くことができてありがたい。
- ・グループウェアを活用することで、朝会を廃止した。
- ・校舎の解錠業務をキーボックスを利用することで廃止し、欠席連絡をデジタル化したことで管理当番業務が軽減された。
- ・ICTには得意不得意があり、得意な先生のところに行きやすいので、ICT専門で動ける外部人材を各学校に配置してほしい。

◆部活動指導に係る負担軽減

- ・交代制がとれるように、文化系の顧問が運動系の副顧問として兼務するよう配置した。
- ・生徒数が減っている現状で、部活動数の削減は必要だと思う。
- ・経験のない部活動の顧問をするのは負担だと思う。今後、外部委託されていくことを期待している。
- ・部活動指導員には専門的な指導をしてもらえるので、顧問の負担が減った。もっと増やしたいが人材が見つからない。
- ・土日は部活動指導員が指導してくれるが、教員として生徒のことを見たいので出勤してしまう。

◆学校を支える体制の整備(外部人材の活用推進)

- ・教員業務アシスタントには会計業務や印刷、検温チェックや消毒作業を担当してもらい非常に助かっている。
- ・生徒の支援が大変な学校には、支援員(スクールカウンセラー等)が常駐してもらえたい。

◆ハラスメントとメンタル不調等の速やかな察知と解決

- ・管理職はしっかり話を聴いてくれるので話しやすい。声掛けもされている。
- ・相談窓口など、困ったときに頼れる所があるのはありがたい。
- ・ストレスチェックは今の自分の状態が分かるので良い。